



◆ ファイル形式データ配信システムの更新について

気象業務支援センターでは、平成 18 年度からファイル形式データ配信システムを運用し、数値予報データや衛星データなどのファイルデータを利用者に提供しています。

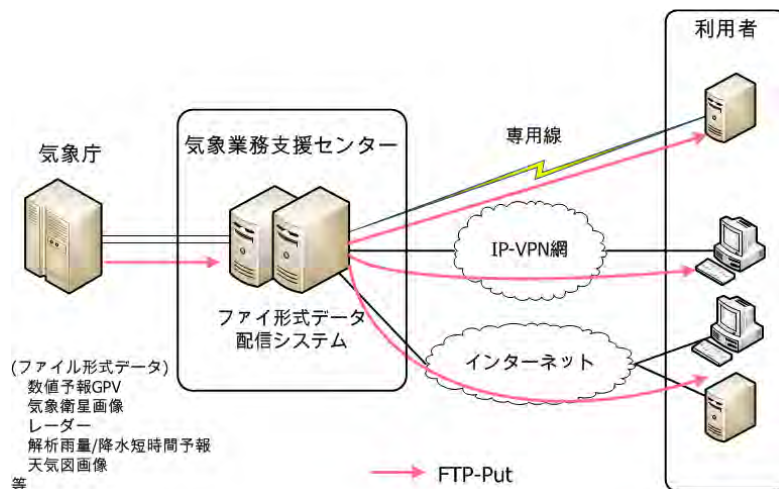
平成 22 年度で運用後 5 年を経過すること、また近年は配信データ量の増加、通信回線速度の向上により、通信機器を中心としたシステムへの負荷が増加していること、今後も数値予報などのデータ量の増加が予定されていることなどから、引き続き安定的なデータ提供を行うため、配信事業検討委員会のご意見を踏まえ、平成 24 年 6 月のサービス開始に向けシステムの更新に着手しました。

新たな配信システムは、主要な機能は現在のシステムとほぼ同等とし、利用者がスムーズに移行できる構成といたします。また、今後のデータ量や利用者の増加に容易に対応できるよう負荷分散と拡張性に留意し、構成機器の安全性を高めることで障害に強いシステムとします。

データ送受信の手順は、現在のシステムと同じファイル転送方式(FTP-Put)とし、通信回線も従来と同様に、専用線、IP-VPN 網、インターネットで提供します。

また、今回の更新では、多くの利用者にスムーズにデータを送付するため、「送信キューブロック（各利用者へのデータ再送等を速やかに実施する）」、「マルチファイル送信（FTP の 1 セッションで複数ファイルを送信し伝送効率の向上を図る）」、「送信回線数の拡大」などの機能強化も行います。

利用者の皆様とはシステム更新についての情報を共有し、スムーズに移行できるよう準備を進めてまいります。本システムに関する技術的な内容や配信データについてご不明な点がございましたら、当センター配信事業部（TEL:03-3215-2205）までお問い合わせください。



ファイル形式データ配信システムの概略図

(財団法人気象業務支援センター配信事業部)